

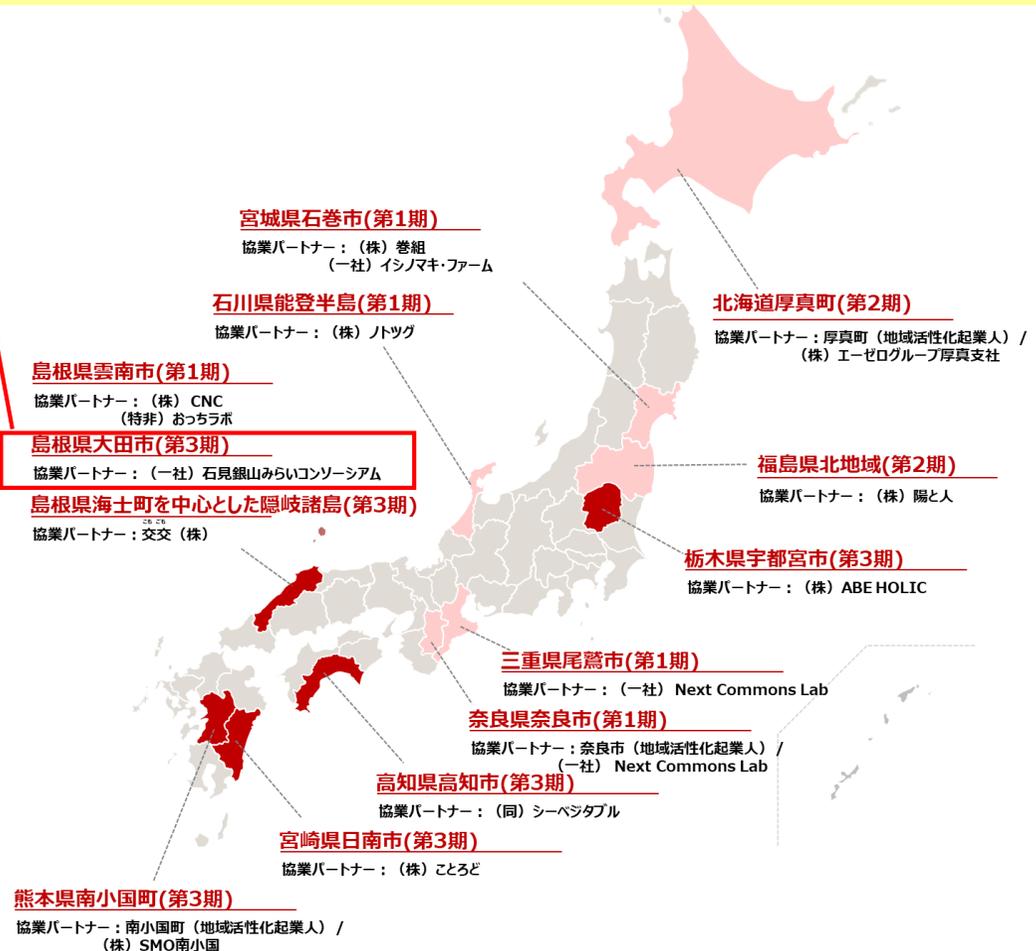
- ・日本郵政グループの社員を、社会課題解決に向けて活動する地域プレイヤーの元に派遣しています
- ・①地域での共創(新規)ビジネス創出、②起業家マインドを有する人材の育成、③持続可能な地域社会づくりや郵便局の新たな役割の模索を掲げ、グループプロジェクトとして2022年4月から開始し、延べ16名、13地域に派遣してきました
- ・2024年4月から、島根県大田市の石見銀山エリア(島根県大田市大森町)に所在する一般社団法人 石見銀山みらいコンソーシアムに社員を派遣しています

一般社団法人 石見銀山みらいコンソーシアム

自然・歴史・暮らしからなる石見銀山(島根県大田市大森町)の資産を生かし、未来に向かう共通の目標や課題を、石見銀山にかかわるあらゆる人々・団体・企業と共有し、活動するコンソーシアム(=共同体)。

令和5年度から石見銀山の観光施設である龍源寺間歩の指定管理を受託し、その収益を地域課題(観光・防災・教育・福祉など)に還元。

本実証実験は、石見銀山の観光の高付加価値化を目指すみらいコンソと日本郵便が共同で実施。



石見銀山エリア(島根県大田市大森町)について



石見銀山エリア(島根県大田市大森町)

- ・石見銀山発見:1527年
- ・重要伝統的建造物群保存地区:1987年
- ・世界遺産登録:2007年

2027年:石見銀山発見500年、世界遺産登録20周年、重要伝統的建造物群保存地区登録40周年



石見銀山大森郵便局



龍源寺間歩

実証実験概要

- ・石見銀山エリア内外で、NFT配布・特典付与・情報配信を行い、このエリアをより一層楽しめる体験の提供や来訪誘致および、このエリアと関わり続けられる仕組みの構築を目指します

取組

石見銀山エリアデータベース

石見銀山エリアとの接点が生じたタイミングで「地域との関わり方の証明書」としてNFTを配布

来訪・施設入場・購入



- ・デジタルスタンプラリーを実施予定
- ・観光客の周遊性や滞在時間・消費額の向上を期待

エリア外のイベント参加

- ・来訪記念や、ゲーム形式でNFTを配布
- ・イベント以降に地域に訪れた際の特典も設計

その他

- ・物販購入やHP閲覧、SNS媒体などでの配布も検討

期待する効果

来訪誘致

NFTの特典や、取得者向けの地域情報の発信で、地域への来訪を誘致

周遊性向上

NFTの取得を通じ、エリア内の周遊性や消費単価、地域収益向上

ロイヤリティ・観光データベース構築

NFT配布状況データの蓄積により、NFT取得数に応じた特別な体験を提供

※ NFTとは、「Non-Fungible Token (非代替性トークン)」の略で、デジタルデータに唯一性を付与する技術です。本施策のNFTはSUSHI TOP MARKETING株式会社 (代表取締役: 徳永 大輔) が提供するトークングラフマーケターを使用して発行し、アカウントレスで受け取ることが可能です。

実証実験①しまねふるさとフェア2025(2025年1月18日、19日)

- ・ひろしまゲートパークプラザ(広島市)で開催される「しまねふるさとフェア2025」の石見銀山世界遺産センター、道の駅ロード銀山のブースで「石見銀山お招きNFT」を配布します
- ・NFTには大田市のマスコットキャラクター「らとちゃん」や、島根県在住の高校生で、パラアートで活躍されている重谷一甫さん作のデザインを使用します
- ・NFT取得者に対し、LINEでの地域情報の発信や、石見銀山に来訪した際の特典を提供します

☆実施イメージ

※画像はイメージです

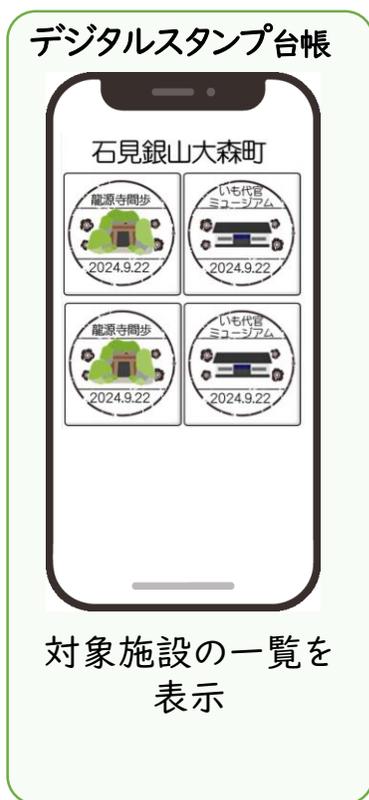
	石見銀山世界遺産センターブース			道の駅ロード銀山ブース
	ブース来訪記念NFT	銀探し参加記念NFT	切手&絵はがき 購入特典NFT	ブース来訪記念NFT
配布方法	チラシ等で配布	銀探し体験参加者に配布	切手&絵はがきセットの 購入者に配布	チラシ等で配布
NFT デザイン				
世界遺産 センター 来訪特典	世界遺産センターに来訪し、NFTを見せたら ①世界遺産センター入場割引 ②世界遺産センター来訪記念NFT(右図)			—
龍源寺 間歩 来訪特典	龍源寺間歩に来訪し、NFTを見せたら ①地域割引券 ②龍源寺間歩来訪記念NFT(右図)			

実証実験②石見銀山デジタルスタンプラリー(2025年3月中旬開始予定)

- ・石見銀山エリアの観光施設や店舗、郵便局の窓口などに、デジタルスタンプ(NFT)を受け取れる二次元コードを設置
- ・来訪者が二次元コードを読み取ると、専用サイトの地図台帳にデジタルスタンプを記帳
- ・NFT取得数に応じ、地域内外で得られる特典を提供(準備中)

☆実施イメージ

※画像はイメージです



・対象となる施設の選定及び特典などの企画は、
地域内の郵便局及び地域事務局が選定し、各事業者と調整

NFTの受取及び確認方法

- ・本実証実験で配布するNFTは、それぞれ二次元コードを読み取り後、日本郵便のLINE公式アカウントを友だち追加すると取得可能
- ・同アカウントのトーク画面で、取得したNFT及び地域からの情報発信を確認

※画像はイメージです



実証実験を通して描きたい将来像

- ・郵便局は、150年以上にわたって郵便物や荷物をお届けすることで人と人をつなげてきました
- ・郵便局がそれぞれの地域と築いてきた関係性を活かして、人がさまざまな地域とつながり、そのつながりを維持・発展できる世界観の実現を目指していきます

